

平成26年11月13日
長崎河川国道事務所

— 記者発表資料 —

佐世保中央ICの改良により、最大渋滞長が約4割減少しました。

西九州自動車道佐世保中央ICについて、左折レーンを1車線から2車線へ増やした後の交通状況をお知らせします。

佐世保中央ICは、市街地方面への左折交通量が多く、朝夕を中心に渋滞が著しく、追突などの交通事故が多く発生していました。

対 策

左折レーンを1車線から2車線へ増やしました（平成26年9月26日）。

結 果

最大渋滞長は、約4割減少（整備前440mから整備後270m）しました。特に整備後の夕方は渋滞がほとんど見られないようになりました。

最大渋滞時（朝8時）の信号待ち回数は、4回から1回に減少しました。

今後とも、渋滞状況や交通事故（ヒヤリハット含む）などの交通状況を注視していきます。

お 問 合 せ 先

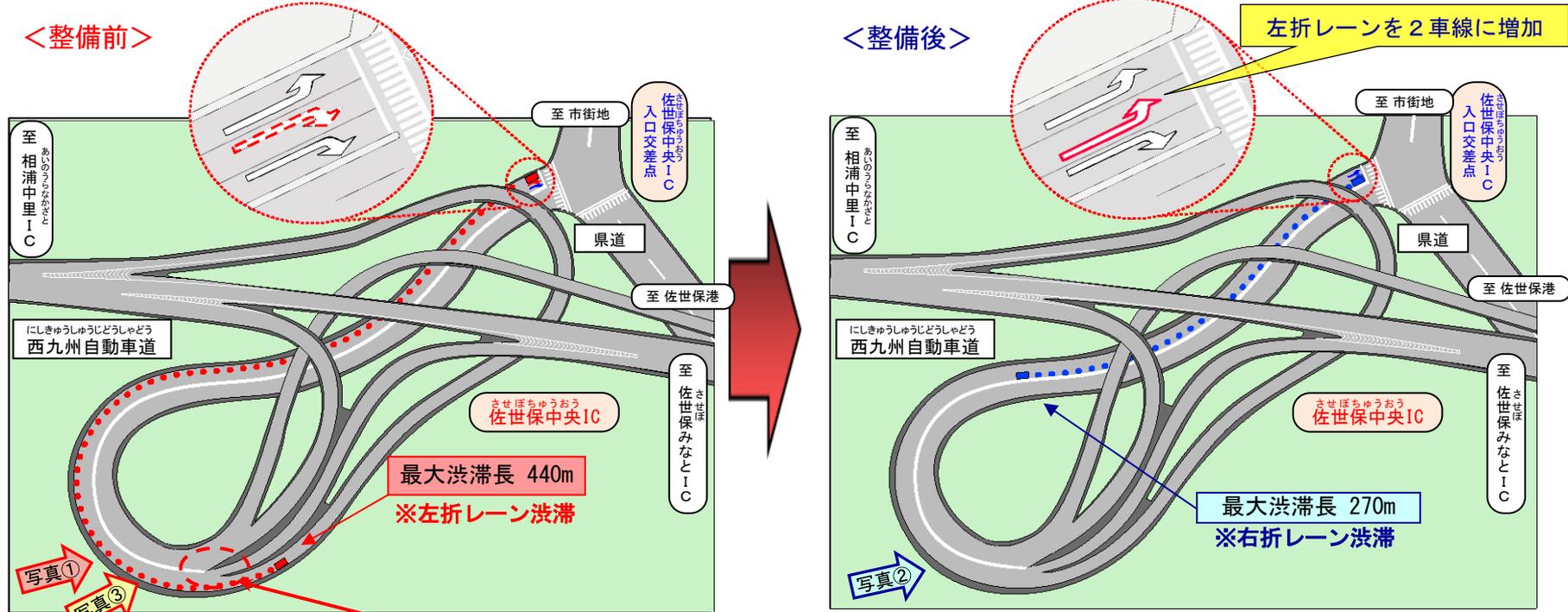
国土交通省 九州地方整備局 長崎河川国道事務所

技術副所長 横山 浩
交通対策課長 井本 真樹男

TEL095-839-9211（代表）

西九州自動車道 佐世保中央 I C の左折レーン 2 車線化前後の渋滞状況

■ 整備前後の渋滞状況図



整備前の渋滞状況 (写真①)



(写真③)

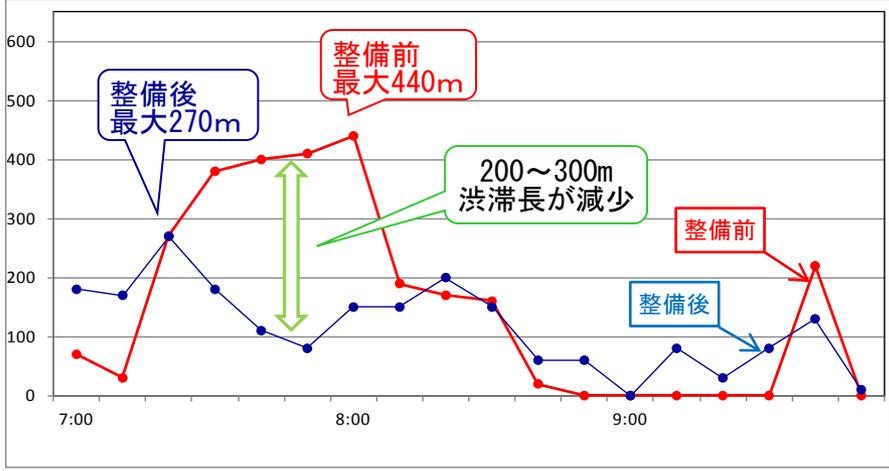


整備後の状況 (写真②)

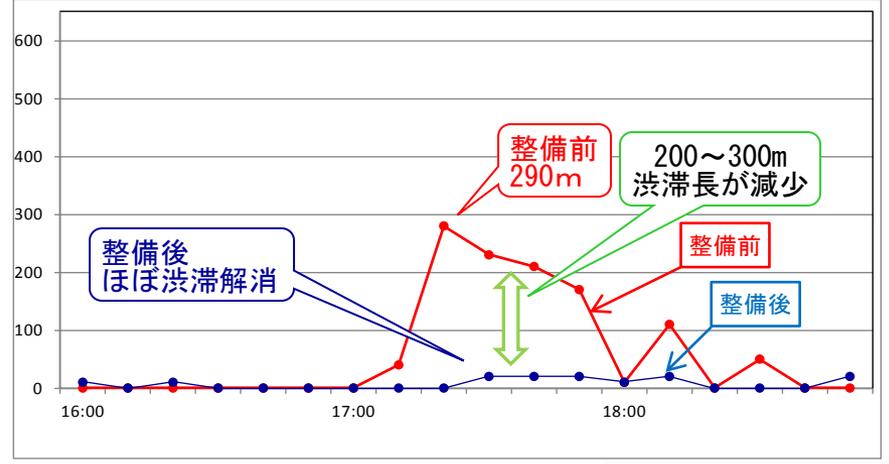


■ 整備前後の渋滞長

朝ピーク時



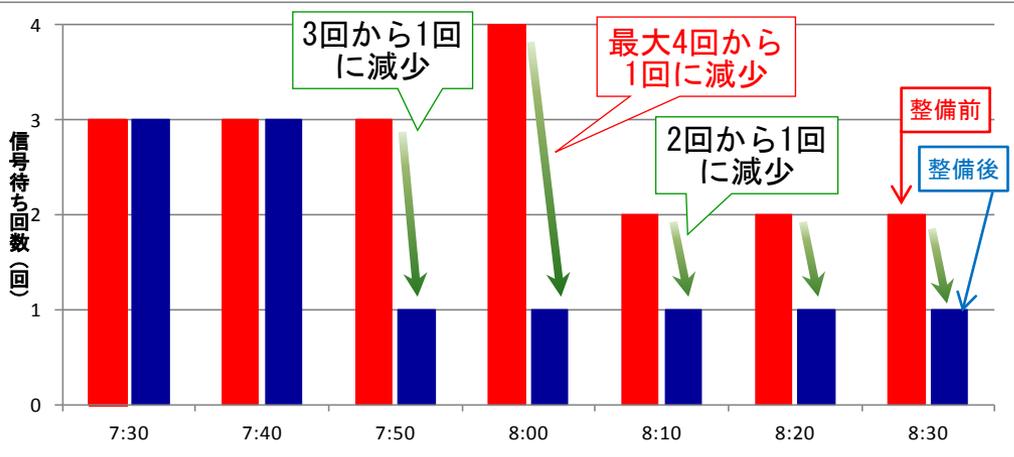
夕ピーク時



調査日
 整備前: 平成26年 4月2日
 整備後: 平成26年10月1日

■ 整備前後の信号待ち回数

朝ピーク時



夕ピーク時

